

BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Club of JAPAN



2006.6.1

Vol.85

日本BPW連合会
2006 年活動スタート

CONTENTS

- 巻頭メッセージ
“新しいリーダーとは?”
連合会会長 黒崎 伸子
- 米沢クラブ認証式
- 近畿ブロック研究会報告
- 2006 年度第 1 回評議会報告
- 事務局連絡
 - ・次回コンGRESに向けての
検討会開催のご案内
 - ・選挙管理委員長決定
- 編集後記

日本BPW連合会ニュースレター

発行人：黒崎伸子 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

～連合会会長メッセージ～

”新しいリーダーとは? 今、連合会に求められていること”

日本BPW 連合会会長 黒崎 伸子



「BPW の本来の目的は、草の根から行政まで広い範囲において、全てのレベルで専門性と指導性・リーダーシップを発展させることであり、BPW 会員は、働く女性のロールモデルになることです。」これは、BPW International のノック会長が日本 BPW へのメッセージで述べた言葉です。彼女は、こう呼びかけました「まず行動を、議論は後で」-“Act fast, Talk after...”

私たち日本 BPW のメンバーは、この言葉にふさわしい活動をしているのでしょうか。まだまだ解決すべき多くの問題があるにもかかわらず…。

日本 BPW 連合会の会長を引き継いで、2 年目に入りました。今、この組織がかかえる大きな課題は、組織強化と財政再建のふたつです。先日の評議会では、会長としての決意表明をしてご協力をお願いしました。今年度は崖っぷちに立っての予算執行です。2 月の東京大会でも、いろいろ寄付がありましたが、まだまだ余裕がありません。各クラブの多様性を認めながら、1 + 1 を 3 や 4 に増幅させるのが、私たち連合会役員の任務だと思っています。役員会や事務局に集まる情報を各クラブに発信することで、相互の情報交換・交流が促進され、会員が増え、組織全体が成長し、財政的にも余裕が出てくるはずなのですが…。

それには新しい取り組みも必要でしょう。公募される補助金事業への積極的対応、企業・団体からの支援獲得とそのためのプロジェクト開発、組織内ネットワークの徹底、子育て世代にむけての取り組み、女性が仕事をする際に直面する問題への徹底的検証、国際組織との連携など。

先日、米沢クラブの発会式に出席しました。地域経済も社会整備もこれからという地方都市ですが、そこに新たなクラブが芽生えたのには、山形クラブ・仙台クラブの支援と地域を支えている女性たちの元気があったからでした。

BPW 会員の皆様が、連合会への所属意義を見出して頂くために、私はいつも自分自身、以下の問いかけをしています。

◇なぜ、BPW に所属しているのか?

◇BPW ために、何ができるか?

◇私のできることで、BPW をどう変えられるか?

そして、何かを見つけられたら、ひとつずつ行動に移していきたいと思っています。みなさんはいかがでしょうか。現状報告でも、名案でも、反論でも…、会員のみなさんの連合会に対する思いをお寄せ下さい。

(ご意見は、メールで会長宛または事務局 office@bpw-japan.com へ。)

BPW米沢クラブ認証式 日本の元気は米沢から・・・



山形の米沢クラブの認証式が 4 月 23 日、米沢市の上杉城址苑で盛大に行われた。米沢クラブについては、山形クラブや仙台クラブのサポートもあって、アソシエイトクラブとして発足以来急速に活動の輪を広げ、既に本年 1 月の評議会で単位クラブへの昇格が承認されていた。この認証式は、まさに地元米沢でのお披露目である。

認証式には、地元から米沢市長(代理)らが出席され、来賓としての祝辞が披露された。また連合会からも黒崎会長ら多数が出席し、黒崎会長は「自分が何をやりたいのか、何が出来るのかを知り、自立した女性になろう」とエールを送った。来賓紹介や認証状の授与、バッジの贈呈などに続いて、仙台クラブの遠藤恵子元連合会副会長が、記念講演を行った。遠藤元副会長は、4 月から山形県立米沢女子短期大学の学長に就任されたことから、これから米沢の女性問題への支援では極めて大きな期待が寄せられている。米沢クラブにとって大事なときに大切な人を迎えることが出来たことになる。BPW にとってもいろいろとご支援を頂いている古橋源六郎氏による発言を引用しながら男女共同参画社会を推進する為に、ジェンダーフリーとは、女性を中性化するといった一部で出されている疑問点への回答を明確につたえ、「女性が社会に進出することは素晴らしいこと」と結んだ。会長に就任された成澤紀子さんは、

「米沢日報」の経営を担う役員の一であり、会員の紹介では、元気で仕事に取り組みながら、母親として子育て中というメンバーの多さに圧倒された。

この日、地元はすばらしい春の日差しに恵まれ、寒い冬で開花が遅れていた城址公園のサクラが待っていた様にほころび始め、米沢クラブの発足を祝っていた。



遠藤慶子さん講演風景

近畿ブロック研究会 「働く女性の本音と未来」

5 月 21 日(日)

於:リーガロイヤル・ホテル

テーマは「働く女性の本音と未来」



プログラムは「東大で上の千鶴子にケンカを学ぶ」の著書で一躍有名になったタレントの遥 洋子さんを招いて、山口典子 BPW 堺クラブ会長との対談。

テーマにそった元気な対談は参加者を満足させたようである。対談に先立ってのオープニングセレモニーではフルートの演奏に続いて、堺市長や黒崎会長の挨拶など盛りだくさんで、「1000 人の集会をする」と約束した堺クラブと、山口会長の熱意を实らせた。

近畿ブロックからの参加者の他、連合会としても、黒崎会長、佐藤副会長、土田組織委員長、平松前会長らが出席した。

山口会長は、終了後「BPW の参加者は二十数名(堺クラブをのぞく)で、これではダメかな」と平松前会長に話したが、「会合のもち方にはいろいろあるし、1000 人を集める会合には、この方式は良かったと思う」との感想を述べた。

2006 年度第 1 回評議会報告

2006 年 4 月 16 日 13:00～ 於:八重洲ホール

議題

1) 2006 年度 中心となる活動について (連合会会長)

東京大会で示した方針にそって、具体的には次のようなことに取り組んでいきたい。

- ①財政再建…活動の基盤となる財政面の強化は不可欠である。
- ②組織拡大…財政的な問題も会員減少が大きな原因である。
- ③ネットワーキング強化…活動活性化のためと組織拡大へのメリットも考えて、広報委員会の強力を得て、それぞれの会員が登録できる mailing list の立ち上げ
- ④他団体との協同…BPW が所属している国連 NGO 国内婦人委員会と外務省で行ってきた日本一中東女性交流が、今年度 BPW が担当する可能性が高く、これに取り組んでいきたい。
- ⑤コンGRES に向けて…昨年のスイスコンGRES 報告を現在作成中であるが、これまでのコンGRES を振り返り、これからの取り組みにつなげるために、7 月頃にコンGRES 参加経験者や関係者などによる会合を開く。

2) 2006 年度委員会活動計画案について (各常任委員長)

【企画】PWI および日本 BPW 連合会の統一テーマへの取り組み (土田企画委員長)

・新しいテーマ“New Dimensions of Leadership”に沿った活動をすすめる

【組織】組織の充実と拡大 (木下・組織委員会担当副会長 (牟礼委員長代理))

- ・会員減少という組織の危機的状態解決に取り組む。
- ・新たな領域の会員増の一案として、構成会員の 75% が働いている女性であることというルールを逆に利用して、広い視野での会員獲得を図る。(例: 将来就職する女子大生や再就職予定の主婦等)
- ・クラブのない地域への働きかけキーパーソンの紹介を依頼
- ・会員名簿の作成一各クラブからのデータ提出 5 月 20 日、6 月中に差替えページ送付予定

【広報】情報化・ICT 化に即した広報活動の見直しおよび強化 (佐藤副会長 (広報委員長兼務))

- ・組織内の情報発信として、評議会メールとは別に、会員同士の情報交換、署名のお願い、問題提起、ディスカッションなどを行える新しいメーリングリストを立ち上げる。(各自での登録、運営で問題があれば見直す)
- ・NL・会報の発行も同様…会報は校正の不備をなくするため工程の見直しを行う。
- ・HP の英語版充実は国際委員会の強力を得て行う。

【国際】BPWI と連携した国際活動への支援および国内における国際的視野の育成 (山野国際委員長)

- ・環境委員会のリージョナル担当に二ノ宮さん就任への協力。
- ・国内での各地の活動状況を発信する (HP 英語版で…)
- ・ヤングのサポート: CSW インターン派遣の周知 (募集要項の説明) 応募人数を拡大し、事業を通じての広報活動ともなると認識。マニュアルの完成。募集要項は HP にアップ、各クラブでも協力を。
- ・アジア太平洋地域会議 (2007 年 5 月第 2 週、ソウルで開催) への協力と参加
- ・女性の視点を取り入れた国際的支援活動への積極的参加

【財務】運営費充実のための財務活動 (塩崎財務委員長)

- ・継続して在庫品販売…ロゴ入 T シャツは残り 4 枚、東京クラブから寄付のロゴ入バッグ及びロゴ入クリアファイルの販売 (注文用紙に記入して提出、発送作業上第 1 次め切は 5 月末、以降は財務委員長へ申込み)
- ・梅干販売 (売上の 20% が連合会収益) も継続。
- ・BPW 友の会との今後の連携・相互関係等の再検討
- 【ヤング BPW】若い会員の支援と増強および BPW student との連携 (二ノ宮ヤング委員長)

- ・メンター制度の推進…メンターの年齢制限撤廃 (これまでは 50 歳未満): 拡大した枠でのメンター募集 (具体的には、ヤング会員のサポート・助言、個人的な悩み相談など、ヤングの ML に登録)

- ・ヤング会員の認知を高める…フライヤー利用など

- ・BPW-S メンバーの協力で CSW の報告会を企画中
- ・他の委員会との連携…広報・ヤング会員紹介、国際・CSW サポート、企画・スピーチのサポート

※役員会報告: 広報委員長人事について

これまで、役員が兼務していたが、広報業務をスムーズにするために、これまでの実績・経験を活かして、次年度までの約 8 ヶ月間、平松昌子さんに広報委員長をお願いすることを 4 月 15 日の役員会で決定し就任されたことを報告。

3) ブロック研究会およびスピーチコンテスト開催について

◇北海道・東北／苫小牧クラブ: 9 月 30 日 (土) 13:00～
スピーチコンテスト同時開催

◇関東・山梨／武蔵野クラブ: 10 月 29 日 (日)
スピーチコンテスト同時開催予定

◇中部／愛知ブロック: 8 月 19 日 (土)

◇近畿／堺クラブ: 5 月 21 日 (日)

◇西日本／長崎クラブ: 11 月 11 日 (土) 男女共同参画
推進センター スピーチコンテスト同時開催

■事務局連絡

「メリダコンgresにに向けての検討会」

開催:7月8日(土) 14:00~16:30

会場:タワーホール船堀 301 会議室
(江戸川区総合区民ホール)

江戸川区船堀 4-1-1

TEL:03-5676-2211

都営新宿線「船堀駅」駅前

<http://www.towerhall.jp/>内容:メリダコンgresに向け、これまでの
問題点と今後の取り組み
方について

1. コンgres参加について
2. コンgres関連の準備について
3. 決議案について……

①日本から提出する決議案の
検討方法②出てきた決議案に対する意
見の集約ー連合会としての
結論

③問題となる決議案への対処

参加者:連合会拡大役員・コンgres
参加経験者あるいはコンgres
に関心のあるかた参加希望者は、クラブ名、ご氏名
を記入の上、事務局へ連絡。E-mail: office@bpw-japan.com

(ㄇ切7月2日)

事務局 FAX:03-3348-7648

(ㄇ切6月30日)

□クラブからどなたも出席されない
場合、次の要点などについてご
意見があれば、以下にご記入の
うえ、上記締切りまでに事務局
に返信をお願いします。

- 1) コンgresに関する情報提
供について
- 2) コンgresの代表・代表代理
の選出について
- 3) コンgres前の決議案や規
約改正案に関する連合会
意見集約過程について
- 4) 日本 BPW 連合会のコンgres
や BPW International との
関わり方について
- 5) その他

■選挙管理委員長決定

評議会後、選挙管理委員5名で互
選の結果、委員長は山形クラブ棚
田美津子さんに決定いたしました
ので、ご報告いたします。

4)連合会の財政再建について [連合会会計]

①会費納入状況の報告

②今後の抜本的収支改善について

ー支出の削減は?すでに役員旅費を削減

ー収入を増やすには?…会員増強の他に収入源はないのか?

※具体的改善案がでない場合は、来年度予算が組めず最終的には会費値
上げの提案をせざるを得ない。③新・10,000 円貢献キャンペーンの提案→これについては、役員会案だけ
でなく、各クラブの意見を取り入れては?の意見もあったため、再度アイデ
アをよせていただき、再検討した結果を報告することになった。各クラブの
ご意見・アイデアを事務局宛にメール又は FAX で送付。ㄇ切6月末。

5) 国連インターン派遣報告 [平松前会長(布柴副会長代理)]

○今回派遣の4人の紹介、英語力には問題なく積極的に発言していた。

WS の報告書にも関与

○CSW の内容

・CSW テーマ(北京行動綱領などに基づいた将来に向けての課題をとりあげている)

①開発に向けての女性の参画を強化すること

②あらゆる分野における決定過程への女性と男性の平等な参画

・国連改革に関して…CSW をどうするか? CEDAW との関係

・緊急動議…海外労働に出て行く人の人権の問題(人身売買的)

・公式審議と別に、NGO が政府に対する働きかけとして提案をアピール等

・WS は500?ー興味のあるWSに参加する(各個人それぞれ)

○現地での打合せ(ブリーフィング)、登録(BPWI を通じて事前登録)、
NGO 参加者学習会(有料) + 交流会など

○BPWI 指定ホテルに宿泊:1室(320ドル)を4人でシェア(一人80ドル)

○自発的に報告書を作成中→何らかの形で配布予定

6) その他 [事務局など]

①国際婦人年連絡会の各部会について

・各部会の会議は通常、週日の昼間に東京で開催されるため、在京の会員
が委員を務めていた。・委員募集やその結果については後日報告する。委員の会合出席報告
については、再検討する。

②各クラブの年会費を報告

③各クラブの現状報告や問題提起などの発言

■常任委員会予算配分について

2006 年度委員会活動費 350,000 円の振り分けについて、評議会後に役員、各常
任委員長で検討の結果、下記のとおり決定しました。

企画委員会	170,000 円	広報委員会	15,000 円
組織委員会	10,000 円	財務委員会	10,000 円
国際委員会	15,000 円	ヤング BPW 委員会	130,000 円

■編集後記 一通のメールに驚かされた。「婦選会館立ち入り禁止!耐震強

度の測定結果、地震で倒壊の危険あり。」婦選会館(市川記念館)は、女性
NGO 活動の拠点ともなっており、「国際婦人年連絡会」等の事務局が置かれて
いるところでもある。築45。いずれ建て替えとは誰もが思っていただろうが、こん
な形で「ある時」が突然やってくるとは。(平)※広報委員長を平松前会長にバトンタッチし、広報担当副会長として二人で協
力して活動していくことになりました。今後共よろしく願いいたします。(佐)